

**Crystia**  
WAKASAGI

クリスティアワカサギ  
CRT Rα  
CRT R+  
CRT R

**取扱説明書**

この度は、「クリスティア ワカサギ専用電動リール」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みいただき、製品の特徴をよく理解の上でお使いください。取扱説明書が分かりにくい場合は、発売元までお問合せください。また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要な時は再度ご確認ください。

**フタバ**

**グローバル株式会社**  
〒203-8511 東京都東久留米市清原3-14-16  
お客様センター(無料) TEL: 0120-506-204

BLOEMERIDE MADE IN CHINA

**安全上のご注意**

●本機は防水仕様ではありません。水没した場合は直ちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げ店又は弊社お客様センターにご相談ください。  
●お使いになる人や他の人への危害及び財産への障害を未然に防止するため、取扱説明書や本体ラベルに表示された内容は必ずお守りください。取扱説明書及びラベルのマークの意味は次のようになっています。

**警告**

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合及び軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合を示します。

**注意**

取り扱いを誤った場合、軽傷を負う危険性が想定される場合、並びに物的損害のみの発生が想定される場合を示します。

この表示は、決してしてはいけない「禁止」を示します。  
この表示は、必ず実行していただく「強制」を示します。

**お手入れの方法**

・巻き糸やリール本体には、潤滑剤やコーティング剤を使用しないでください。作動不良・樹脂の破損などの原因になります。  
・各部分に付着したゴミ・砂・水分などは真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取り、スプール・電池蓋を外して電池を取り出し、十分に乾燥させてください。  
・タンナー・ベンジンなどの揮発性溶剤は絶対使用しないでください。変形や故障などの原因になります。  
・スプールベアリングの注油は極少量にしてください。スプールシールに油が掛かりますと回転不良の原因となります。スプールシールに油が付着した場合、きれいに拭き取ってから交換してください。

**オーバーホール**

本リールを末長くお使いいただくためにも、年に一度は弊社アフターサービス部門にオーバーホールに出されることをお勧めします。(有償)

**故障かな?と思ったら**

修理を依頼される前に、弊社商品ホームページのFAQをご確認ください。

**警告**

**電動リール本機について**

- 外部電源αユニット搭載機の電源は、推奨バッテリー以外使用しないでください。
- 本機は淡水の止水状況でのわかざり専用リールです。河川やトローリングなど流水の中では使用しないでください。故障や事故の原因となります。  
・分解・修理・改造などをしないでください。故障や火災・感電けがなどの原因となります。  
・スプールを外した状態でモーターを回転させないでください。モーターゴムの破損、スプール台の摩耗・発熱などから火傷・火災や故障の原因となります。  
・スプールを外した状態やスプール止めネジを緩めた状態で巻き上げスイッチを押し続けしないでください。モーターや電池が発熱し、事故・火災や電池の液漏れなどの原因となります。
- 方角、使用中に異常な音、異常な発熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げ店またはお客様センターにご相談ください。放置すると事故・火災などの原因となります。  
・電池が新しいにもかかわらず、スプールの回転が著しく低速であったり、回転しない場合は、ただちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げ店またはお客様センターにご相談ください。放置すると事故・火災などの原因となります。  
・本機は防水仕様ではありません。水没した場合は、ただちに使用を中止し、速やかに電池・外部電源を抜き、お買い上げ店またはお客様センターにご相談ください。放置すると感電・火災などの原因となります。  
・移動時や使用しない場合は電池または外部電源から接続プラグを外してください。誤って巻き上げスイッチを押し続けた場合モーターが発熱し、事故・火災や電池の液漏れなどの原因となります。
- 使用中、根掛りや大きな魚が掛るなどの高負荷が生じた場合、ただちに使用を中止してください。発熱などから火傷・火災の原因となります。  
・本体・電池共に、保管の際は子供や幼児の手の届かないところに保管してください。万が一電池を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。  
・電池ボックス内に水が溜ると漏電・電解腐食の原因となり機能に影響を与えます。水が入った場合は速やかに電池・外部電源を抜き取り拭き取ってください。また、使用中・使用後に問わず水が入っていないかを確認してください。  
・デジタルカウンター部分は絶対開けないでください。故障の原因になります。故障の場合は、お買い上げ店またはお客様センターにご相談ください。  
・液晶部のレンズ内部に水滴の付着や曇り、割れ、クラックが見られた場合は、使用をやめて修理に出してください。  
・マグネットの周囲、上に置かないでください。モーターの誤作動、カウンターが誤表示する原因となります。  
・液晶面に力を加えると、故障の原因となることがあります。液晶面には力を加えないでください。  
・液晶の表面は傷が付きやすいので、画面を拭くときは十分にご注意ください。

**電池/外部電源について**

- 新品・異種電池の混用はお止めください。液漏れ・破裂・発熱・発火の原因となります。  
・電池の極性(⊕と⊖)を逆にしないでください。  
・火気の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショートをしてしないでください。
- 電池の液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明や目に障害を発生する恐れがあります。

**注意**

**電動リール本機について**

- 釣りの以外の目的に使用しないでください。  
・接続プラグを抜く際にコードを引っ張ったり、電源コードをリール本体にくるくる巻き付けたりすると、断線の原因になりますので絶対にやめください。  
・接続プラグは間違った方向で差し込みますと故障の原因になります。  
・屋外では使用しないでください。  
・使用中に糸やスプールに触れないでください。けがや破損などの恐れがあります。  
・ふんばるレックを押ししたり、引っ張ったりすると本体から外れるなどの原因になります。絶対にやめください。  
・クラッチレバーを強い力で押し付けしないでください。機能障害や割れてけがをする恐れがあります。  
・本スプールはMR/SR/CR/CR-PTシリーズに取り付けその使用できません。  
・PTシリーズのスプールはその他の機種に使用できません。  
・火気やストーブのそばなど、高温になる場所で保管・使用しないでください。変形や故障などの原因になります。
- 子供または幼児の手の届かないところに保管してください。  
・濡れない場所、濡れない状態で使用ください。
- 直射日光・高温・多湿の状態では保管されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。下記お手入れを実施後、風通しの良い場所に保管してください。  
・使用頻度にかかわらず経年劣化により、故障・機能低下・変色・コードの断線などを起こることがありますのでご了承ください。  
・落下などの衝撃を与えないでください。破損、内部電子部品の損傷、故障を起こす恐れがあります。  
・尻手ロープ取り付けに尻手ロープを取り付けた場合でも、強い衝撃で外れる場合があります。お取扱いは十分に注意してください。  
・船べり停止ガイドに強い衝撃を加えないでください。曲がる恐れがあります。また、使用状態によりガイドに糸漏れが発生することがありますのでご了承ください。  
・糸がスプールの下に挟まった場合は、無理に引っ張らず、電源をOFFにしてスプール止めネジを緩めスプールを外してから糸を取り出してください。  
・メンテナンス後にドライヤーや発熱器具を使っての乾燥はおやめください。樹脂が変形する恐れがあります。  
・出荷時には、カウンターに保護シートが貼ってあります。ご使用の際ははがしてお使いください。  
・オモリが重い(目安7.5g以上)、穂先が長いなどスプールへの負荷が大きい場合にはリールの構造上、強い誘いや合わせで糸がスプールから出てしまう場合があります。その際は糸止めを使用するか、スプールをザミングながら誘いや合わせを行ってください。  
・オモリの重さや使用頻度により、ガイドに糸漏れやひび割れが発生する場合があります。ご了承ください。

**電池/外部電源について**

- 釣行後は、必ず本体から電池・外部電源を取り出して保管してください。使えなくなった電池は速やかに本機から取り出していただき、液漏れの原因となります。  
・電池を保管・捨てる場合は、接点部分にテープを貼るなどの絶縁を行ってください。

**各部の名称**

標準装備	CRT Rα	CRT R+	CRT R
水深カウンター	●	●	●
ふんばるレックプレート	●	●	●
外部電源αユニット	●	●	●

※カウンターはあくまでも目安となります。  
穂先の巻き込みなどの破損に関しては一切責任を負いませんので、船べり停止機能を有効にお使いください。  
※巻き上げボタンを使用してのクラッチON動作は電池残量が少なくなると、作動しなくなります。その際は、新しい電池に交換してお使いください。  
※電源オートOFF機能  
電源ONの状態、1時間カウンター・モーターの動きが無いと自動的に電源OFFとなります。(その際は水深カウンターもリセットされますのでご注意ください)  
※モーターリミッターについて  
スプールの回転が止まっているのに、モーターを動かそうとすると1秒後にモーターが停止します。スプールを回転させると復帰します。  
※糸の摩擦により静電気が発生し、極端に電子回路に影響が出る場合があります。その際は、一度電源を切り、再度設定し直してください。  
※外部電源αユニットはMRシリーズ/SRシリーズ/CRシリーズ/CR-PTシリーズでは使用できません。

**操作方法**

**1 電池仕様種別の電池の入れ方**

- 電池カバーを図1の様に開けてください。(無理に力を加えると破損する恐れがあります。)
- 中と⊖を間違えないように入れてください。(図2)
- 図3の様に電池取り出しテープはみだしないように電池カバーを開けてください。  
※寒い環境下で使用される際は電池の性能が発揮できないことがあります。

**●外部電源種別の接続方法**

クリスティアワカサギ外部電源ボックス(別売)に接続プラグを差し込む。  
※推奨バッテリー：クリスティアワカサギ外部電源ボックス

**2 電源の入れ方・切り方**

- スイッチAを2秒以上押しすると電源が入ります。
- 電源を切る際も、スイッチAを2秒以上押ししてください。(電源ONの状態でも、スイッチAを2秒以上押しすると、電源が自動的に切れます。)

電源ONの状態でも1時間放置しますと、電源が自動的に切れます。

**3 道糸の巻き方**

- スプールに糸を結び、スイッチAを押し電源を入れてください。
- 船べり停止ガイドに通さず、巻き上げスイッチを押し均等になるように巻いてください。
- 道糸にはPEラインをご使用ください。
- 魚が掛かったり、仕掛けを回収する際は左右どちらかの巻き上げスイッチを押してください。1秒以上押しと、連続巻きとなり、指はなしても仕掛けを回収することが出来ます。

**4 ラインの設定**

- 出荷時PE0.2号-30mは入力済みです。
- その他の号数・長さの場合、本取扱説明書裏面「機能設定クイックマニュアル」⑤ライン設定を参照し、設定してください。

**5 ロッド(穂先)の取り付け方**

- リールのロック(穂先)取り付け穴は、φ5mmとなっています。
- ロック取り付け穴に奥まで差し込み、しっかりと固定されていることを確認してください。(振動で緩むことがありますので、使用中は時々ご確認ください。)\*強く差し込むと抜けなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

**6 糸の通し方・丸カンの通し方**

- 糸の巻き過ぎによるロッドの破損を防ぐために、右図を参考に丸カンとリーダーを結んでください。
- ①スプールより道糸を引き出し、船べり停止ガイドに通してください。
- ②次に船べり停止させるための道糸と丸カンを結んでください。
- ③丸カンの向こう側にリーダーを結んでください。巻き上げ時、丸カンを引き上げ船べり停止ガイドに当たりモーターの回転が止まります。リーダーの長さは丸カンから、サルカンなどまでの長さをロッドの長さより少し長めにセッティングすると巻き込み防止となります。
- 丸カンは、ロッドのガイドをスムーズに通る物を使用してください。(約φ2.0mm)

糸の通し方・丸カンへの通し方  
サルカン等、丸カン、リーダー部、ロッドの長さより長めに設定してください。  
※図のピース玉・結び目・サルカン等は本製品には付属していません。

**7 糸の出し方・止め方**

- クラッチレバーを右側に倒してください。スプールフリー状態になり、仕掛けを落下させることができます。
- 棚に到着したら、クラッチレバーを左側に倒すが、巻き上げスイッチを押すとスプールがロックれます。(巻き上げスイッチは、電池残量が少いなど動作しません。)

**8 ラインストッパーの使い方**

- スプールに3箇所所付いているラインストッパーに糸を引っ掛けると、毎回同じ棚で停止させることができます。(外れやすい時は二重に引っ掛けてください。)\*オモリが重い(目安7.5g以上)、穂先が長いなどスプールに負荷が大きい場合にはリールの構造上、強い誘いや合わせで糸がスプールから出てしまう場合があります。その際は糸止めを使用するか、スプールをザミングながら誘いや合わせを行ってください。

**9 電源OFFにした時の設定データ保存**

- 一度電源を切っても水深カウンター以外は電源を切られる前までの設定条件はメモリーされており、再設定の必要はありません。

**クリスティアワカサギ外部電源αユニットの取り付け方法**

※あらかじめ、リール本体から乾電池を取り外してください。

※使用する電源は、推奨バッテリー以外使用しないでください。  
※乾電池はリールに入れないでください。  
※バッテリーは必ず防水対策をおこなってからご使用ください。水に濡れると発熱や故障の恐れがあります。  
※リールの使用方法などについては、リールに付属する取扱説明書をご確認ください。

**注意**

- プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。
- リール本体にコードをくるくる巻き付けるとは、おやめください。断線などの原因となります。

**推奨バッテリー(別売) クリスティアワカサギ外部電源ボックス**

**モーターチューブ/スプールシール(別売)の交換方法**

モーターチューブやスプールシールは消耗品であり、長期間のご使用により回転音やスプールのスリップなど性能が低下する可能性があります。

**モーターチューブの交換**

- ①モーター上部を左図の様に指で引っ掛けて、モーターを傾けます。
- ②チューブを引き抜きます。
- ③新しいチューブを真っ直ぐ差し込んでください。  
※至んだま差し込みますと異音の原因になります。  
※モーターを立ち上げすぎると、押さえバネが外れることがありますのでご注意ください。

**スプールシールの交換**

- ①スプールシールを剥がします。その際、スプールに付着しているノリやゴミなどキレイに取り除いてください。
- ②新しいスプールシールを貼って完了です。  
※気泡など入ってしまうと異音の原因になります。

※リールの油や指の油がモーターチューブやスプールシールに付着しないようご注意ください。もし付着したらしっかり拭き取ってください。  
※交換しても異音やスリップする場合弊社アフターサービス部門に出されることをお勧めします。(有償)

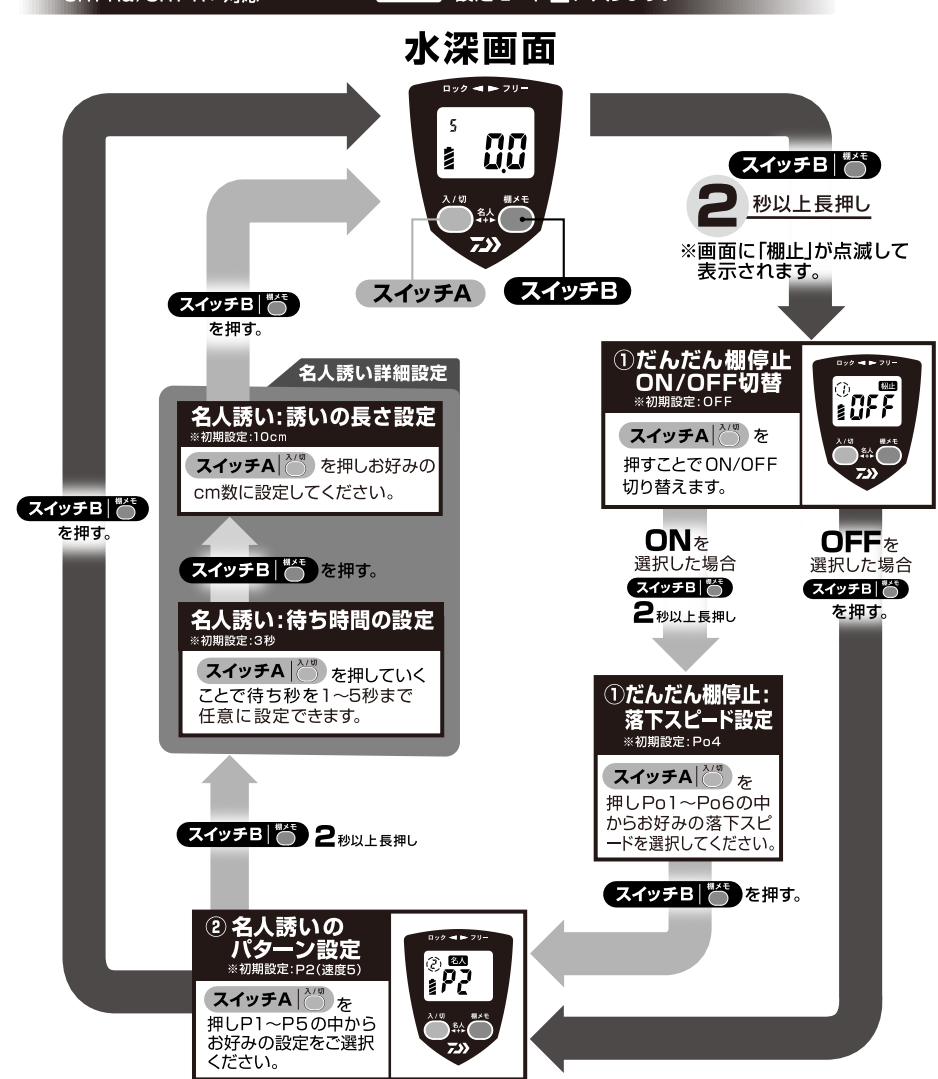


設定動画は下記のQRコードを参照ください。



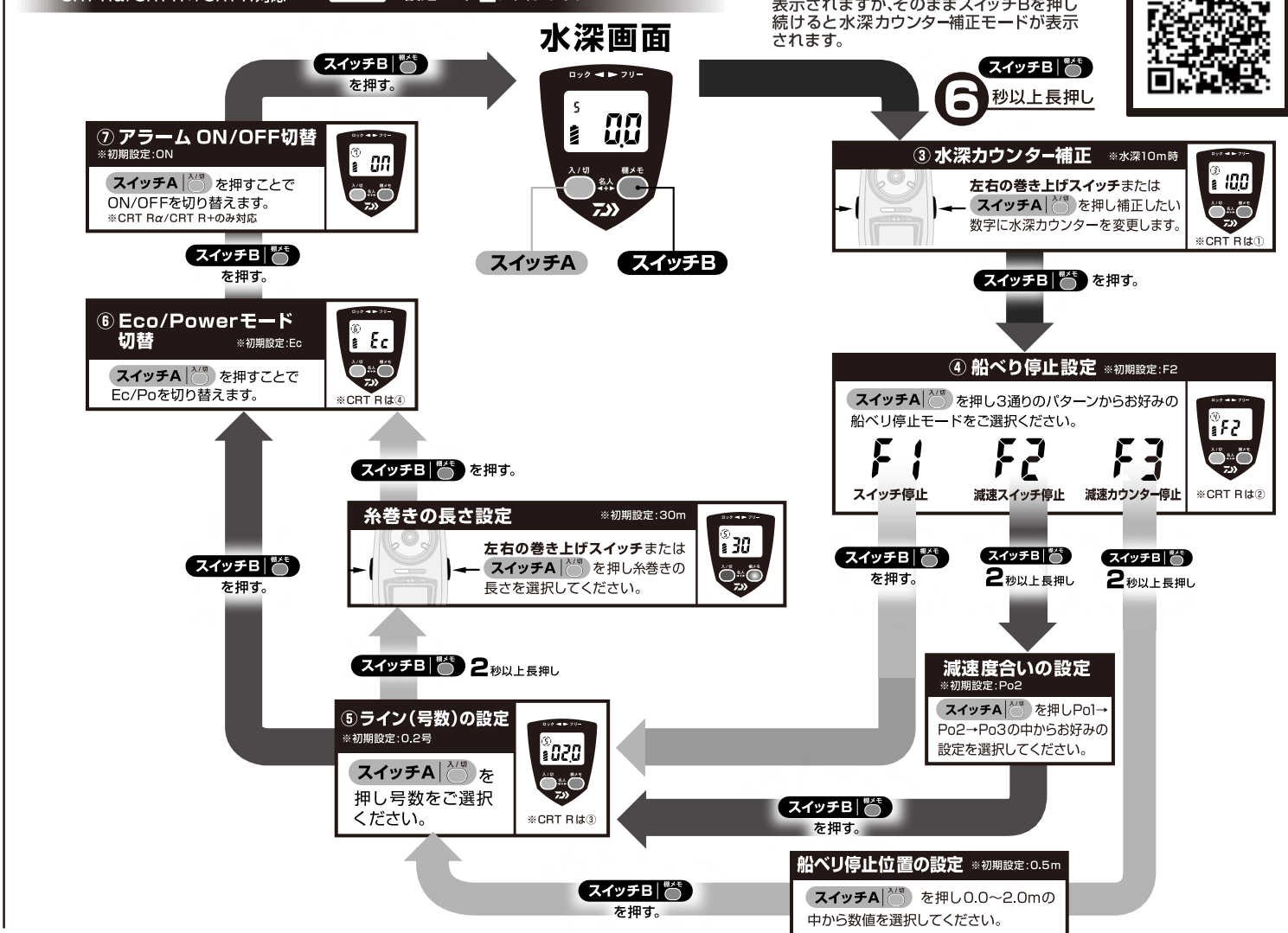
### 機能設定モードA

便利機能を設定するモードです。スイッチBを2秒以上長押しすると設定モードAに入ります。



### 機能設定モードB

基本機能を設定するモードです。スイッチBを6秒以上長押しすると設定モードBに入ります。



設定の詳細は下記の各設定方法を参照してください。

#### ① だんだん棚停止の設定方法 (CRT Rα/CRT R+対応) 機能設定モードA

オモリを棚まで落とす時、魚群を散らさないようにゆっくり落とす機能です。設定した棚の手前1mでクラッチをONにし、スプールを止め、低速で棚まで落とします。

#### ② もっと選べる名人誘いのパターン設定方法 (CRT Rα/CRT R+対応) 機能設定モードA

水深画面からスイッチBを2秒以上押しすると機能設定モードAに入ります。さらにスイッチBを1回押しとカウンター左側に①の文字、右側に現在選択されている名人誘いパターンの番号が表示されます。スイッチAを押すと、以下の5通りの名人誘いからお好みのパターンを数字で選べます。

パターン	1	2	3	4	5
10cm上げて10cm下げて3秒止め×5回繰り返す	10cm上げて10cm下げて3秒止め×5回繰り返す	10cm上げて30cm下げて3秒止め×5回繰り返す	10cm上げて50cm下げて3秒止め×5回繰り返す	約5cm上下3回-3秒止め×5回繰り返す	10cm上げて2秒止め×10回、合計100cm上げて100cm下げて3秒止めるを繰り返す

#### 名人誘いの「待ち秒」・「誘い長さ」の変更

名人誘いの停止時間「待ち秒」と誘い幅「誘い長さ」が設定できるのでさらに誘いパターンが広がります。

**設定方法**  
名人誘い選択画面からスイッチBを2秒以上押し、スイッチAで1~5秒の待ち秒を選びます。(右図は初期設定P2の「待ち秒」3秒が選択されている例です。)

再度スイッチBを押してからスイッチAを押すことで「誘い長さ」を選択できます。設定後、スイッチBを2秒以上押しと水深画面に戻り、設定完了です。(右図は初期設定P4の「誘い長さ」5cmです。)

誘いパターン	機能	設定パターン
P1	待ち秒	1-5秒 (3秒)
P2	誘い長さ	5 10 15 20 30 50
	待ち秒	1-5秒 (3秒)
P3	誘い長さ	5 10 15 20 30 -
	待ち秒	1-5秒 (3秒)
P4	待ち秒	1-5秒 (3秒)
	誘い長さ	5 10 15 20 30 50
P5	待ち秒	1-5秒 (3秒)
	誘い長さ	5 10 15

#### ③ 水深カウンター補正の設定方法 (CRT Rα/CRT R+/CRT R対応) 機能設定モードB

お手持ちの魚探の水深表示とリールの水深カウンター表示を一致させることで、より精度の高い魚取りが可能です。(例)リールの水深カウンター「10.0」を魚探の水深表示「10.8」に補正する。

#### ④ 選べる船べり停止の設定方法 (CRT Rα/CRT R+/CRT R対応) 機能設定モードB

水深画面からスイッチBを6秒以上押しすると機能設定モードBに入ります。さらにスイッチBを1回押しとカウンター左側にCRT Rα/CRT R+は③の文字、右側に現在選択されている船べり停止番号が表示されます。(左図は初期設定の「F2減速スイッチ停止」が選択されている例です。)

F1= スイッチ停止 F2= 減速スイッチ停止 F3= 減速カウンター停止

#### 選べる船べり停止の詳細とご注意

※船べり停止は巻き上げスピード・負荷で前後にズレる場合があります。

**F1= スイッチ停止**  
丸カンと船べり停止ガイドを使用して巻き上げを停止させる方法です。表面・操作方法6のようにセットすれば、巻き上げ時に結び目がピーズを引き上げ船べり停止ガイドに当たり、船べり停止スイッチが作動してモーター回転が止まります。スピードが減速しない分、より早く回収できますが、停止した際の衝撃が大きくなり③以上の高速巻き上げ時はバラバララインブレイクなどにつながる場合がありますのでご注意ください。

**F2= 減速スイッチ停止**  
巻き上げを停止させる仕組みは「スイッチ停止」と同様ですが、このモードでは停止する1m手前から巻き上げスピードが自動的に減速し、停止した際の衝撃が小さくなり、バラバラを軽減する効果があります。

**F3= 減速カウンター停止**  
水深カウンター表示0.0m~2.0mの間、お好みの位置で巻き上げを自動的に停止させる機能です。また、設定した巻き上げ停止位置の1m手前から巻き上げスピードが減速します。※ただし、カウンター表示がズレるなどして、自動停止するよりも先に丸カンが船べり停止スイッチに当たった場合はそこで巻き上げが停止します。

#### 「減速速度の選択画面」

#### ⑤ ライン(号数)設定の操作方法 (CRT Rα/CRT R+/CRT R対応) 機能設定モードB

水深画面からスイッチBを6秒以上押しして機能設定モードBに入ります。さらにスイッチBを2回押しとカウンター左側にCRT Rα/CRT R+は⑤の文字、右側に初期設定のPEライン0.2号が表示されます。(左図は初期設定のPEライン0.2号が選択されている例です。)

#### ⑥ Eco/Powerモードの設定方法 (CRT Rα/CRT R+/CRT R対応) 機能設定モードB

パワーモードは重いオモリなど高負荷時にスプール滑りにくくなるため、モーターが使用時にブレーキを掛けるモードです。エコモードはブレーキを掛けないので電池が長持ちするシステムです。

#### ⑦ アラーム設定方法 (CRT Rα/CRT R+対応) 機能設定モードB

水深画面から、スイッチBを6秒以上押しすると機能設定モードBに入ります。

#### オールリセット

①電源OFF状態からスイッチBと巻き上げボタン(左右)を同時に押しながらスイッチAを6秒以上長押し、表示されたらボタンを離してください。  
②LCDが「888~000」までローテーション表示し、最後に「CLR」が表示されます。  
③スイッチBを2秒以上長押しすると水深画面に戻ります。スイッチAを2秒以上押し、電源をOFFすることでオールリセットされます。